



# ほしぞら通信

2023年  
07月号

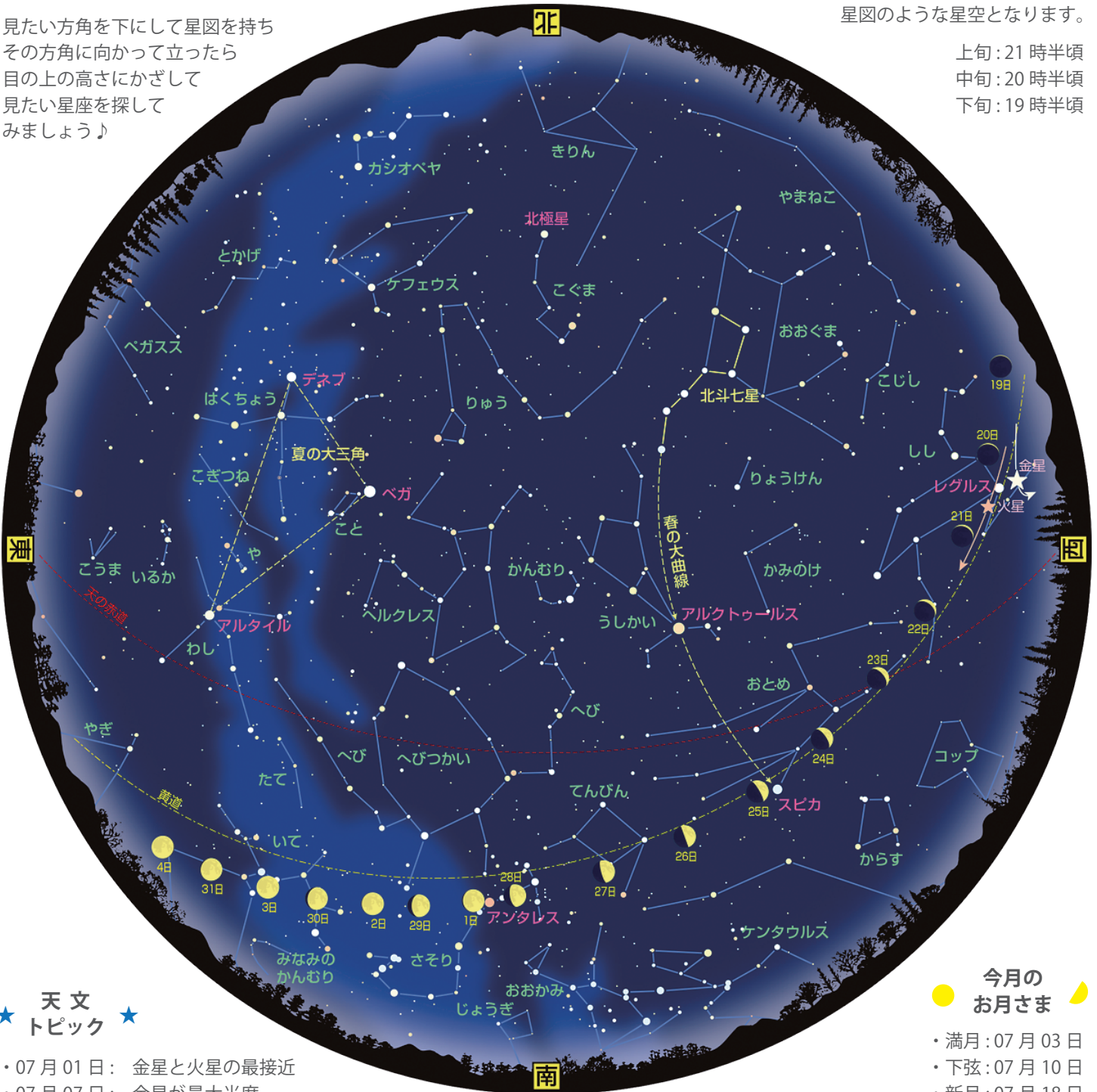


● 星図資料提供 : アストロアーツ

見たい方角を下にして星図を持ち  
その方角に向かって立ったら  
目の上の高さにかざして  
見たい星座を探して  
みましょう♪

福岡ではおおよそ以下の時間に  
星図のような星空となります。

上旬 : 21 時半頃  
中旬 : 20 時半頃  
下旬 : 19 時半頃



## ★ 天文 トピック ★

- 07月01日 : 金星と火星の最接近
- 07月07日 : 金星が最大光度
- 07月20日 : 細い月と金星が並ぶ

## ● 今月の お月さま

- 満月 : 07月03日
- 下弦 : 07月10日
- 新月 : 07月18日
- 上弦 : 07月26日

【07月の満月】バックムーン (雄鹿月)

## ★★ 星の歳時記 ★★

早めに梅雨入りしたものの、6月の糸島は意外に雨が少なかったですね。福岡は例年、博多祇園山笠の時期まで梅雨が続きますが、今年はどうなるでしょうか。もうしばらくは、大雨の用心をしながら、本格的な夏を待つことになりそうです。そろそろ夏休みの計画を考え始めているご家族も多いと思います。いしまた天文台でも、夏にしかできない企画を考えていますのでご紹介しておきます。8月の企画ですが、よかったら参考にしてください。

まず、8月13日(日)の夜に、志摩中央公園で「ペルセウス座流星群」の観察を行います。予約無しで自由に集まって、望遠鏡は使わずに流れ星を探す会です。地面に横になって空全体を見上げるのがコツなので、参加したい方はピクニックシートの準備をお忘れなく。

8月22日(火)~25日(金)の宵には、同じく志摩中央公園にスタッフが毎晩やってきて、思い思いに望遠鏡などを使って観望することになっています。糸島市の所有のガリレオは来ませんが、その分ゆったりと望遠鏡を使えたり、星の話をしたり出来るかもしれません。

今年は久しぶりに、夏の星空の思い出をたくさん作れるといいですね。よかったら、足を運んでみてください。

見るなら  
今でしょ!!

夏の星座ヘルクレス座が東の空高く登ってきました。ヘルクレスはギリシャ神話の英雄です。そのヘルクレスの腰に当たる部分に注目したい天体、球状星団M13があります。球状星団とは、その名のとおり数万から数百万の星が球状に集まった天体です。M13は約22,000光年も離れた天体ですが、直径が100光年ほどもあり、含まれる星は数十万個ととても大きい星団なので、天の赤道より北側の球状星団では最も明るく大きな星団です。



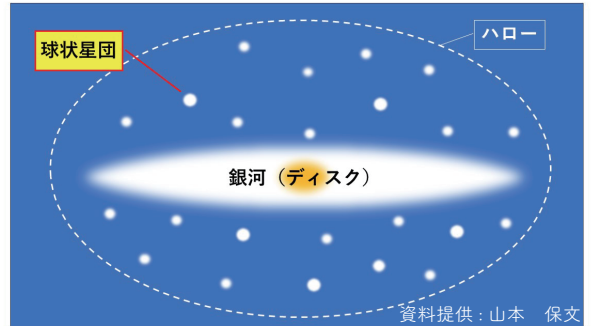
M13 写真提供：富山 良兼

ただし、見た目の大きさは満月の3分の1ほどもありますが、明るさが5.7等と肉眼で見える限界に近いので双眼鏡でもボォ～としか見えません。すこし大きな望遠鏡ならば、びっしりと星が集まった美しい姿を見ることができます。

ところで、球状星団には大きな2つの謎があります。1つ目の謎は、銀河系で大部分の星が集まっている円盤部分「ディスク」ではなく、外側にある「ハロー」と呼ばれる部分に存在すること。2つ目の謎は、星団の年齢が銀河系の生まれた頃と同じくらいに古い、ということなのです。

このため、銀河系のディスクにある星たちとは違う生まれ方をした、と考えられています。「他の銀河と衝突した痕跡ではないか？」とも言われていますが、いまだに明らかにはなっていません。

いとしま天文台の観望会でもよく見ている有名な天体なので、機会があれば観望会にお越し頂き、一度ご覧になりませんか？



資料提供：山本 保文

星乃 ★★  
よもやま ★★  
ばなし ★★

『夏の赤い星』  
夏の夜空で見つけやすい星座の一つがさそり座です。

★★ そのさそりの心臓で真っ赤に輝く一等星のアンタレス。このアンタレス、巨大な星で大きさは太陽の700倍。もしアンタレスが太陽の位置にあったとしたら地球を飲み込んで火星にまで届く大きさだそうぞうです。

アンタレスとは、「アンチアーレス=火星に対抗するもの」と言われますが「火星に似たもの」と解釈する訳もあります。火星も赤いですからね(^^)

2016年の夏、火星とアンタレスの最接近がありました。冬の明け方ですが2020年にも二つの星が近くに見えていました。

今度、夏の夜空にアンタレスと火星が近くに見えるのは2031年。ちょっと先にはなりますが・・・(^^)；  
ぜひどちらが明るいのか比べてみてください。

ヒトリ ★★  
ゴト ★★

5月の定例観望会は、当日が曇り空で天体の観望は全く望みがない状況でした。

それにも関わらず予約を下さった方の殆どの方がお越しになりました。

いよいよ観望開始になりました。参加の皆様は、準備できた望遠鏡に並び意欲満々です。空全面に雲が広がってしまっていたので、接眼レンズで観望する体験として、望遠鏡で雲を観て頂きました。

早い話、何も見えていない状態ですが「ああやっぱり～」と、見えないことを納得する第一歩のようでした。

望遠鏡が目標天体に自動的に動いていくのを見ていただいたときは、初めての経験をなさったようで、興味津々の様子でした。

晴れた日の観望会の過ごし方とは違う面白さが有る事に気づかされた夜でした。

Y.Tomiyama

🔭 **定例観望会開催のお知らせ** いとゴンマークの「天文台号」が目印ですよ～♪

開催予定日 << 要予約 >>  
07月22日(土)・08月12日(土)

開催場所  
志摩中央公園グラウンド(糸島市志摩初)

※ 雨・天候不良時は中止となります。  
当日の天候によって開催状況が変わる可能性があるため、当日17時までにホームページ・Instagram・Facebookでお知らせします。確認いただき、ご来場をお願いします。

**お問い合わせ・お申し込み**

● 平日(08:30~17:15) ● ● 観望会当日(14:00~21:00) ●  
糸島市生涯学習課 星空ナビゲーター携帯  
092-332-2092 080-8050-8609  
↑ご予約はこちらへ ↑当日問い合わせはこちらへ↑

こちらで情報を発信しております。何かお問い合わせがありましたら、メッセージ等でお問い合わせください。

ホームページ Instagram Facebook

いとしま天文台 検索 ITOSHIMA.TENMONDAI ④ いとしま天文台

★編集後記★ さあ、いよいよ夏がやってきました。東の空には夏の最大三角と呼ばれる3つの一等星が見えています。こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブ。七夕でおなじみの星たちですね♪南の空にはさそり座やいて座と夏の星座が賑やかです。いつもと同じ星空も、場所や時間が違うと、いつもとちょっと違って見えるかもしれません。お出かけしたり、ちょっと夜更かししてみたり…ワクワクの夏休みを思いっきりお楽しみください♪